



欄に数値またはコメントを記入

## 1. 建物概要

建物名称	福田西病院増築計画	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	-----------	-----	---	--------	----	-----

## 2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0 /5		ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.7 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.6 /5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5 /5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

## 3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目		
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>		得点	3.0	
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④評価方法基準で等級3相当 ④給水PEP(B)、通気VP(A)、排水VP(B)、Eは不使用。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI<sub>m</sub>=0.75。 ⑨BEI<sub>m</sub>=0.69。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫GL工法採用している。 ⑬ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率75%</p>	<p>Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能</p> <p>Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備</p> <p>3.2 3.2.1 ③ 昼光制御</p> <p>Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数</p> <p>2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔</p> <p>2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔</p> <p>2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔</p> <p>2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔</p> <p>2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔</p> <p>Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出</p> <p>3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制</p> <p>2 ⑧ 自然エネルギー利用</p> <p>3 ⑨ 設備システムの高効率化</p> <p>4 4.1 ⑩ モニタリング</p> <p>4.2 ⑩ 運用管理体制</p> <p>LR-2 1 1.1 ⑪ 節水</p> <p>1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無</p> <p>1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無</p> <p>2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減</p> <p>2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用</p> <p>2.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</p> <p>2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み</p> <p>3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用</p> <p>3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤</p> <p>3.2.2 ⑬ 断熱材</p> <p>3.2.3 ⑬ 冷媒</p> <p>LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮</p> <p>2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>			
	<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>		得点	2.7
	<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p>	<p>Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性</p> <p>2.1.2 ⑯ 免震・制振性能</p> <p>2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備</p> <p>2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備</p> <p>2.4.3 ⑰ 電気設備</p> <p>2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法</p> <p>2.4.5 ⑰ 通信・情報設備</p>		
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>		得点	2.6
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳0.1≦[壁長さ比率]&lt;0.3</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p>	<p>Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画</p> <p>3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり</p> <p>3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ</p> <p>Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上</p>			
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>		得点	2.5	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)</p>	<p>Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出</p> <p>2 ⑥ まちなみ景観への配慮</p> <p>3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p> <p>LR-2 2 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材</p> <p>LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>			

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福田西病院増築計画	階数	地上2F
建設地	静岡県磐田市一色字村北18番1、18	構造	RC造
用途地域	指定無し、防火地域・指定なし	平均居住人員	111人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年12月22日
敷地面積	7,861㎡	作成者	渡辺 治
建築面積	1,648㎡	確認日	2023年1月19日
延床面積	2,999㎡	確認者	森 則夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	<b>その他</b> 特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> 1.25% ≤ [昼光率] JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 ビル全体の禁煙が確認されている。	<b>Q2 サービス性能</b> 評価方法基準で等級3相当 給水PEP(B)、通気VP(A)、排水VP(B)、Eは不使用。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> =0.75 BEI <sub>m</sub> =0.69	<b>LR2 資源・マテリアル</b> GL工法採用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率75% 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目を全て満たす

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される